

Dow Corning Toray SE930 シーラント

特長

- 低モジュラス・高伸度のため、ジョイントの動きに対する追従性が優れています。
- 接着面に対する応力集中が小さく、優れた接着安定性を持っています。
- 耐候性、耐久性に優れ、幅広い温度範囲で安定した特性を示します。
圧縮・伸度の繰り返しにも優れています。
- 四季を通じて温度に左右されにくく、混合しやすいなど施工性に優れています。
- 従来の2成分形シリコンシーリング（アミノキシタイプ）に比べて、低温での硬化性に優れています。
- アルコール型、無溶剤型、ノンサグタイプのシーリング材です。
- 部材に合わせて色（カラーマスター）を選ぶことができます。
- SE930 シーラントは、JIS A 5758 耐久性による区分、9030 に相当します。

主成分

- シリコンシーラント
- 2成分形
- アルコールタイプ

建築用シリコンシーリング材(2成分形アルコールタイプ)

用途

Dow Corning Toray SE930 シーラントは、2成分形アミノキシタイプに比較し、低温硬化性が優れているので、大型ユニットパネルの工場施工に最適です。また、アルコール型なので複層ガラス廻りの目地に適しています。

なお、カーテンウォールのガラス、サッシ廻りの動きのある大きな目地にも広く使用できます。接着発現性が早く、特に工場施工に最適です。

代表特性(出荷規格ではありません。)

本製品に対し仕様・規格を設定する場合は事前に弊社までご連絡ください。

規格	試験項目	単位	測定値
	外観		ペーパ状
	スナップタイム	hour	8
JIS K 6249	密度	g/cm ³	1.35
JIS K 6249	硬さ		21
JIS K 6249	引張強さ	MPa	1.9
JIS K 6249	伸び	%	712

スナップタイム測定条件:23±2°C/50%RH

密度、引張強さ、伸びに関しては、23±2°C/50%RH×3日後

混合比(重量比)

基材：硬化剤：カラーマスター = 100 : 2.6 : 5.5～11

*10°C以下の使用においては、硬化速度を上げるために硬化促進剤の使用を推奨します。

色の種類

グレー、ライトグレー、ダークグレー、ダークブラウン、アンバー、ブラック、アイボリー、ステンカラー

包装単位

3.7ℓ (基剤)

使用方法

混合は基剤・硬化剤・カラーマスターのセット毎に、全量を1度に混合してください。

- ①施工手順はJASS8に準拠してご使用ください。なおさらに硬化を速めたい場合は硬化促進剤がありますのでご相談ください。
- ②Dow Corning Toray SE930 シーラントの場合機械混合をしてください。真空脱泡ドラム回転式混合機を必ずご使用ください。Dow Corning Toray SE930 シーラントは基剤・硬化剤に別梱包のカラーマスターを必ず加えてご使用ください。
- ③プライマー
確実な接着を実現するためにプライマーを必ずご使用ください。詳しくはプライマーのカタログをご覧ください。また、プライマーの選定でご不明な点は当社までお問い合わせください。

使用上の注意

- ①被着材が清浄かつ乾燥した状態でシーリング材を施工してください。
- ②打設してから1日以内に雨掛かりすると表面荒れ、硬化不良の原因となりますので、雨水のかからないように養生してください。
- ③打設後しばらくの間は、シーリング材内部は半硬化状態となりますから、目地には大きな動きを与えないでください(表面のシワや内部クラック等の欠陥が生じます)。
- ④石目地、パネル目地等の外壁目地に使用の場合、目地周辺に汚染を生じることがあります。美観を重視される場合は事前に弊社へご相談ください。
- ⑤EPDM、シリコン系のゴム及び他素材のシーリング材(特に変成シリコン)と接触する場合、接触部分で硬化阻害を起こします。必ず、このような取り扱いについては、硬化阻害防止プライマーPR-9300をご使用ください。なおこの硬化阻害防止プライマーPR-9300については弊社にご相談ください。またその他のゴムを使用される場合にも、接触により変質することがあ

ります。事前に確認されることをお勧めします。

- ⑥シーリング材の厚みが1mm以下の場合には、薄層未硬化現象を起こす場合があります。仕上げ時にシーリング材が薄層になる場合にはご注意願います。
また、Dow Corning Toray SE930 シーラント同士の打ち継ぎについても、打ち継ぎ時間をずらして施工する場合には打ち継ぎ部に薄層未硬化が発生します。このような未硬化を防ぐため、打ち継ぎ部には硬化阻害防止プライマーPR-9300を使用してください。
- ⑦バックアップ材に使用されている糊面と接触すると硬化阻害を起こします。できるだけ接触を避けてご使用ください。
- ⑧被着材の表面温度が50℃以上の場合には使用しないでください。
- ⑨接着性について、事前に実際の被着部材を用いてご確認をお願いいたします。
- ⑩適切な設計施工のもとにお使いください。詳しくはシーリング材ハンドブックもしくはJASS 8に準拠してご使用ください。
- ⑪直接火の当たる部分には使用しないでください。
- ⑫シーリング材が皮膚に触れた場合には、速やかに取り除いてください。また、喚起の不十分な場所では目鼻を刺激したり、吸い込みによる障害の起こる恐れがあります。十分に喚起された場所でご使用ください。
- ⑬目に入った場合は直ぐに流水で(15分以上)洗い流し、医師の診断を受けてください。

使用に際し必要な安全情報は本データシートには記載されていません。ご使用前に、製品安全データシート(MSDS)及び、パッケージ又はパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかって下さい。製品安全データシート(MSDS)はウェブサイト、にアクセスしてお求めいただけます。

dowcorning.co.jp さらに、代理店また

は担当営業にご依頼いただいても結構です。

保証期間

冷暗所[32]℃以下にて未開封の状態での製造後[180]日。

ご注意

ここに掲載する情報およびデータは弊社が信頼できると確信する資料にもとづいて作成しましたが、ご使用に際しては貴社のご使用条件にて事前に十分な試験を行なっていただき、貴社のご満足できる性能、効果の有無を必ずご確認ください。ここでご紹介する使用方法、用途などは、いかなる特許をも侵害しないことを保証するものではありません。

弊社製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療および医薬用途向けには試験されておりません。医療用途には使用しないで下さい。

安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認のうえ、使用の可否をご判断ください。また、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないでください。

弊社の都合により本資料の内容を変更することがあります。又新製品、用途の開発によりカタログの改版を行なう場合がありますので随時ご請求ください。

ウェブサイトのご案内

当社詳細及び連絡先については、ウェブサイト、dowcorning.co.jp をご覧ください。

東レ・ダウコーニング株式会社
ビジネスセンター
0120-77-6278

We help you invent the future.™

dowcorning.co.jp

■ 目地設計

目地設計は JASS 8（日本建築学会建築工事標準仕様書防水工事）に準拠してご使用下さい。

● Dow Corning Toray SE930 シーラント設計許容伸縮率・せん断変形率

引張圧縮 M_1 （長期）*1 : 20%
 M_2 （短期）*2 : 30%

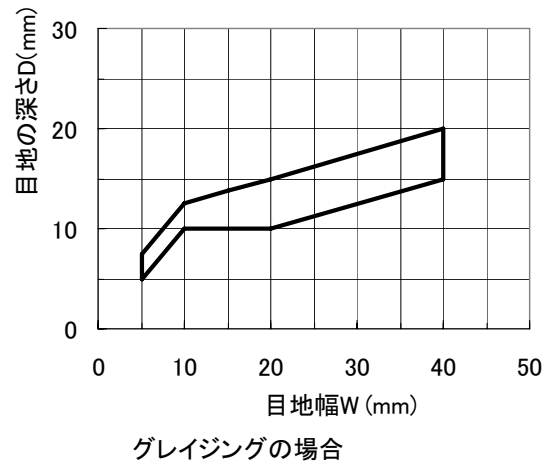
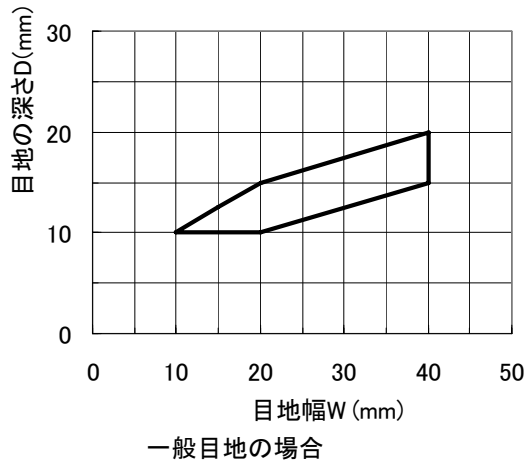
せん断 M_1 （長期）*1 : 30%
 M_2 （短期）*2 : 60%

*1 : M_1 は温度によるムーブメントを考慮する場合

*2 : M_2 は地震・震度によるムーブメントを考慮する場合

■ シーリング材の目地深さ許容範囲

下図の範囲内での設計をお勧めします。



■ 養生温度と硬化速度、接着発現性の関係

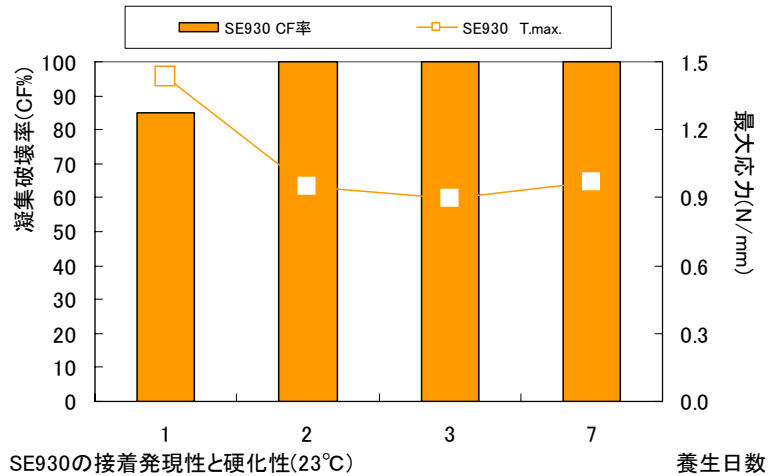
(使用被着体:フロートガラス 使用プライマー:プライマーD-3)

10℃以下の使用においては、硬化速度を上げるために硬化促進剤の使用を推奨します。

硬化促進剤を使用したときの硬化性、接着発現性は以降の表を参照ください。

- 測定条件:23±2℃/50%RH

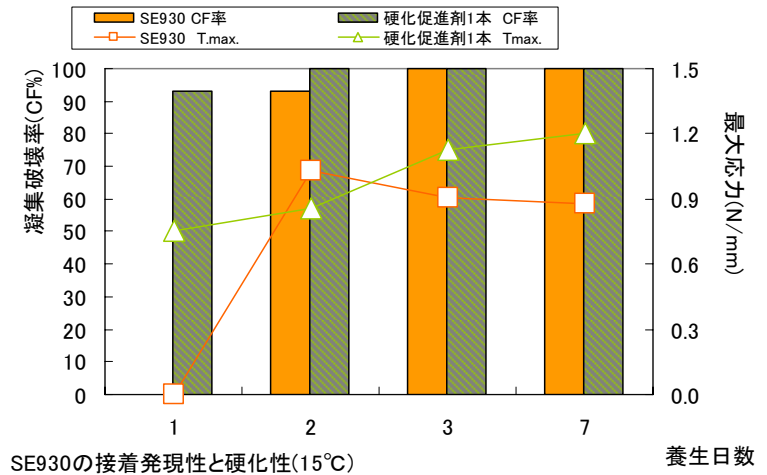
スナップタイム:8時間



- 測定条件:15±2℃/湿度管理なし

スナップタイム:8時間以上

硬化促進剤 1本使用:3.5時間

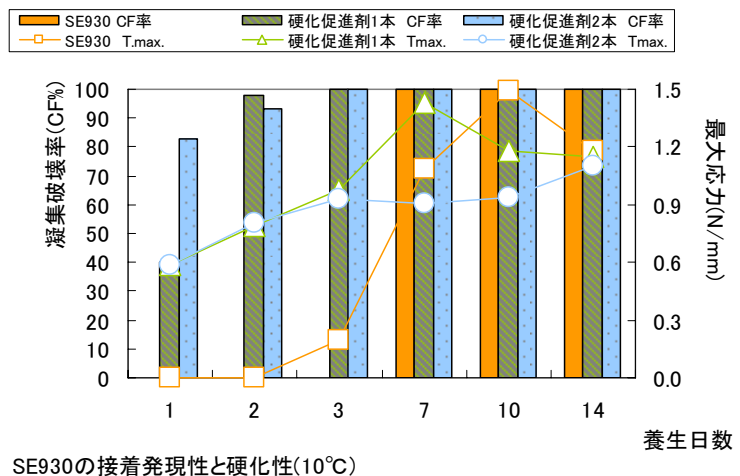


- 測定条件:10±2℃/湿度管理なし

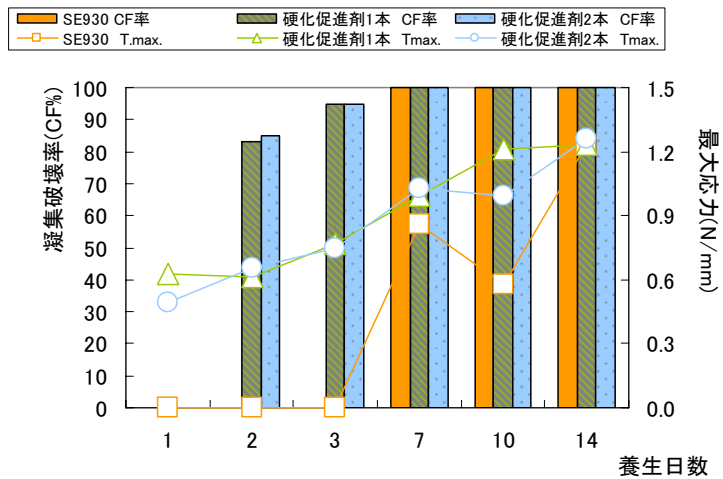
スナップタイム:8時間以上

硬化促進剤 1本使用:7.0時間

2本使用:4.0時間



- 測定条件: $5 \pm 2^\circ\text{C}$ / 湿度管理なし
 スナップタイム: 8 時間以上
 硬化促進剤 1 本使用: 7.5 時間
 2 本使用: 5.5 時間



SE930の接着発現性と硬化性(5°C)

■ Dow Corning Toray SE930 シーラントの引張接着特性

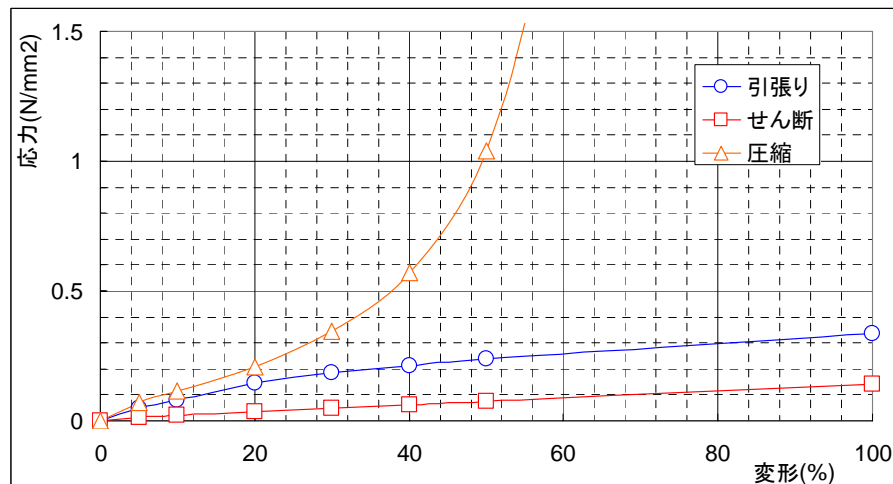
項目	条件	50%引張応力	最大引張応力	最大引張応力時の伸び率	シーリング材の凝集破壊率
被着体		N/mm ²	N/mm ²	%	%
ガラス	養生後	0.23	1.15	544	100
	加熱後	0.19	1.07	548	100
	水浸漬後	0.21	0.85	494	100
	促進暴露後*1	0.23	0.86	376	100
アルミ	養生後	0.23	1.02	503	100
	加熱後	0.19	1.06	556	100
	水浸漬後	0.20	0.77	492	100

*1 促進暴露 5000 時間後

[試験体] JIS A 1439 引張接着性試験体 [使用プライマー] プライマーD-3

[引張り速度] 50mm/分

■ Dow Corning Toray SE930 シーラントの変化率と引張応力の関係



■ プライマー

被着体	プライマー
ガラス・金属・金属塗装面	プライマーD-3
コンクリート*1	プライマーB
EPDM・シリコン系ゴム・ 他素材のシーリング材との打ち継ぎ*2	PR-9300
SE930 同士の打ち継ぎ*2	PR-9300

プライマーが十分乾燥してから、シーリング材を打設してください。

- *1 長時間水濡れ状態が続くような用途の場合には、エポキシ樹脂等によるコーティング処理とプライマーD-3塗布をおすすめします。
- *2 EPDM、シリコン系のゴム及び他素材のシーリング材(特に変成シリコン)と接触する場合、接触部分で硬化阻害を起こします。このような取り合いについては、必ず硬化阻害防止プライマーPR-9300をご使用ください。